

(専門分野)

授業科目	母性看護学演習	講師	外部講師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.母性の対象となる人々の健康の保持・増進に向けた支援について理解する。 2.母性看護に必要な援助技術が習得できる。				時間数
					30
					学年
					2
					時期 第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1 2	母性看護の対象への指導計画の立案と評価 (妊娠期の指導)	1.マタニティサイクルにおける看護の特徴 2.妊娠期にある対象の理解 1)妊娠経過のアセスメント 3.母性看護に必要な援助技術 1)レオポルド触診法・子宮底長の測定		講義 演習	教員
3 4	母性看護に必要な援助技術 (産婦への援助技術)	1.分娩期にある対象の理解 1)産婦の看護の留意点 2)分娩経過のアセスメント		講義 演習	
		1.分娩進行に応じた援助 1)分娩監視装置の装着 2)呼吸法 3)産痛緩和 (1)リラクゼーション (2)圧迫法・マッサージ			
5	マタニティサイクルの対象者への看護過程の展開 (基本的考え方)	1.褥婦と新生児の看護過程の特徴 1)子宮復古 2)母乳栄養 3)育児技術 4)母子愛着形成 2.母性看護に必要な援助技術(産褥期・新生児) 1)褥婦の子宮復古状態の観察 2)新生児のバイタルサイン測定、身体計測		講義 演習	
6, 7	産褥早期の褥婦と新生児のアセスメント	1.褥婦と新生児のアセスメント・援助計画立案 1)褥婦のアセスメントと援助計画立案 2)新生児のアセスメントと援助計画立案		演習	
8		1.アセスメントと計画の共有 1)産褥2日目の褥婦と生後2日目の新生児の観察・援助計画立案		講義 演習	
9 10	褥婦と新生児への援助の実際	1.産褥2日目の褥婦の観察・援助 2.生後2日目の新生児の観察・援助		演習	
11	退院に向けた褥婦への援助	1.産褥4日目の褥婦と新生児のアセスメント 2.産褥4日目以降に必要な褥婦への援助計画立案		講義 演習	

12		1.産褥 4 日目以降に必要な褥婦への指導の実施 1)産褥体操 2)乳房ケア 3)沐浴指導	演習	
13 14	母性看護に必要な援助技術 (新生児の援助技術)	1.新生児の観察 1)バイタルサインの測定 2)身体計測 2.新生児の日常生活の援助 1)おむつ交換・更衣 2)沐浴	演習	
15	評価	単位認定試験 (45 分) まとめ		
評価 方法	筆記試験 50 点 課題 50 点	テキ スト	系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論	